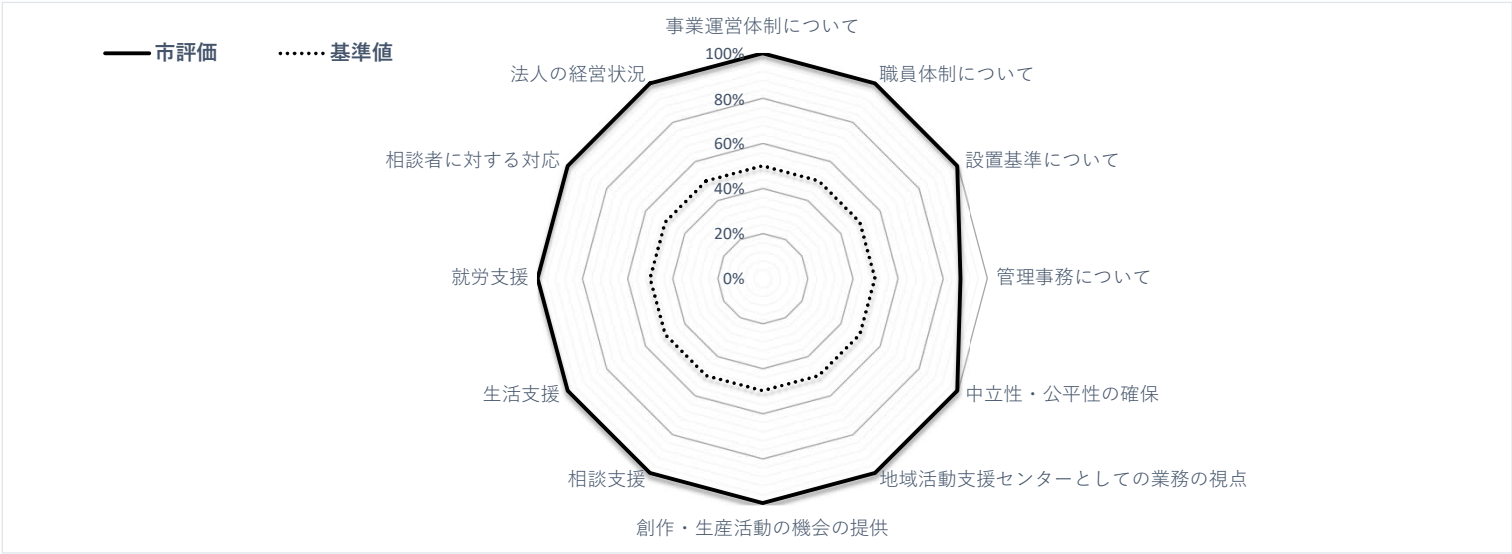


令和7年度 吹田市地域活動支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:地域活動支援センターりあん

法 人 名:社会福祉法人コミュニティキャンパス

評価対象年度:令和6年度



※基準値 については、すべての評価項目で△評価の場合(50%)のグラフです。

最終評価結果	
○評価	35
△評価	1
×評価	0

評価に関する市からの総括
①センターの役割 学生等のボランティアを積極的に受け入れ、障がいの理解促進を図るとともに、民生委員や近隣住民と交流し、センターの役割が地域に浸透するように取り組んでいる。センターを地域の社会資源として、広く周知活用していることが評価できる。 ②センターの事業 利用者同士の間でお互いの障がい理解が進み、利用者自身がまた来たいと思える環境設定が図られている。地域住民、社会福祉協議会、医療機関、学校、警察、障がい福祉サービス事業所等と積極的に連携を図ることにより、利用者のニーズを幅広い支援に結びつけるという独自の工夫をアセスメントに生かしている点が評価できる。 ③改善点 相談記録台帳の項目は、すべての利用者に対して作成がなされていないため△の評価となっている。相談記録の作成、管理方法について改善を期待したい。

評価の基準	
○	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守し、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割を果たし、適切である。
△	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を概ね遵守しているが、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、一部に課題がある。
×	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守しておらず、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、改善が必要である。